

海岸鳥鑑

& BIRD

オオルリ

4月中旬～7月

高い木の梢でさえずるためその美しい姿を目にする機会は少ないが、伸びやかな美しい声はよく聞こえる

ウグイス

2月～12月

西ノ島全域で見られる

キビタキ

4月中旬～7月

梢ではなく木々の中ほどにいるため見つけにくい、美しいさえずりはよく聞こえる

イソヒヨドリ

通年

海岸の崖地に生息し、さえずりは柔らかな澄んだ声をしている

ハヤブサ

通年

カラスより浅くて早いばたきで崖で獲物を探している

注意事項

島の天気は変わりやすいです。風の強い日も多いため、けがに注意しましょう。

急な天候変化に備え、雨具や防寒着があるとよいでしょう。

ハイキングには履き慣れた靴で行くようにしてください。かかとのないサンダルやヒールのある靴、革靴は危険です。

放牧地では牛馬に触れないでください。近づきすぎるとツノで払われたり後ろ脚で蹴られたりすることがあります。特に子牛を連れた雌牛には注意が必要です。

裸足で歩くや寝転ぶなどの行為は、虫刺されの恐れがありますのでお気を付けてください。

HUNIGAHAIKAN

国賀海岸

ハイキングマップ



hiking.nhk-ok.com

春

オキタンポポ

4～5月

西ノ島内でも風などの影響で大きさに違いがある

オキノアザミ

4～6月

本土のものより全体的にトゲが多く、特に花の基部に鋭いトゲがある

ヒロハゴマギ

5～6月

尾根沿いの牛馬の放牧地で数多く見られる

ヒオウギ

7～8月

何枚も重なり合って並ぶ厚みのある葉が檜扇を開いたときの様子に似ていることから付けられたと言われている

夏

コオニユリ

7～8月

本土では山地性とされているが、隠岐では海岸部に多く見られる

ハマゴウ

7～9月

葉を揉むと良い香りがするのが名前(浜香)の由来

秋

トウテイラン

8月下旬～10月

自生地での絶滅が心配されているが、西ノ島では沿道でもよく見られる

オキノアブラギク

10～11月

本土に分布するシマカンギクの垂種といわれていて、花が小さめなことが特徴

ダルマガク

10～11月

花期が短く見つけづらいが、通天橋や観音岩周辺の岩礁帯に群生している

※植物は採らないで下さい※

FLOWER

国賀花園

春

オキタンポポ

4~5月

西ノ島内でも風などの影響で大きさに違いがある



オキノアザミ

4~6月

本土のものより全体的にトゲが多く、特に花の基部に鋭いトゲがある



ヒロハゴマギ

5~6月

尾根沿いの牛馬の放牧地で数多く見られる



ヒオウギ

7~8月

何枚も重なり合って並ぶ厚みのある葉が檜扇を開いたときの様子に似ていることから付けられたと言われている



夏

コオニユリ

7~8月

本土では山地性とされているが、隠岐では海岸部に多く見られる



ハマゴウ

7~9月

葉を揉むと良い香りがするのが名前(浜香)の由来



秋

トウテイラン

8月下旬~10月

自生地での絶滅が心配されているが、西ノ島では沿道でもよく見られる



ダルマガク

10~11月

花期が短く見つけづらいが、通天橋や観音岩周辺の岩礁帯に群生している



オキノアブラギク

10~11月

本土に分布するシマカンギクの亜種といわれていて、花が小さめなことが特徴



FLOWER & BIRD

国賀海岸 花鳥図鑑

オオルリ

4月中旬~7月

高い木の梢でさえずるためその美しい姿を目にする機会は少ないが、伸びやかな美しい声はよく聞こえる



ウグイス

2月~12月

西ノ島全域で見られる



キビタキ

4月中旬~7月

梢ではなく木々の中ほどにいるため見つけにくいですが、美しいさえずりはよく聞こえる



イソヒヨドリ

通年

海岸の崖地に生息し、さえずりは柔らかな澄んだ声をしている



ハヤブサ

通年

カラスより浅くて早いはばたきで崖で獲物を探している



